

---

# 伊勢崎佐波地区 景気動向調査


No.63 2018.10~12月期

---

## Contents

- 概況 …… 業況判断D.I.は2期連続で改善  
来期も改善傾向が続く見通し
- 特別調査 …… 2019年の経営見通し

 伊勢崎商工会議所

 アイオーしんきん

## 調査方法について

伊勢崎商工会議所とアイオー信用金庫が共同し、伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の企業386社にご協力いただき、面談または聴取りによる調査の回答を集計したものです。

製造業、卸売業、小売業、建設業、サービス業の5つの業種について3か月ごとに景気の動きを調査し、最新の動きをまとめております。

独立行政法人中小企業基盤整備機構並びに日本商工会議所の実施する全国規模の調査結果を一部引用しております。また、毎回テーマを設け「特別調査」を実施しております。

## 今回の調査について

調査時期	2018年12月
調査内容	① 今期の状況:前年の同時期(2017年10月~12月)と比較した今期(2018年10月~12月)の状況及び前期(2018年7月~9月)と比較した今期の状況。 ② 来期の見通し:前年の同時期(2018年1~3月)と比較した来期(2019年1月~3月)の見通し。
調査方法	伊勢崎商工会議所及びアイオー信用金庫の調査員による面談または聴取り調査
調査対象企業数	伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の企業 386社
回答企業数	370社
回答企業業種別内訳	下表のとおり

業種	回答企業数	調査対象企業数	回答率
製造業	112	117	95.7%
卸売業	27	29	93.1%
小売業	93	93	100.0%
建設業	57	61	93.4%
サービス業	81	86	94.2%
合計	370	386	95.9%

## 調査結果の分析について

調査結果の分析には、判断指数(Diffusion Index-D.I.)を用いております。この判断指数(D.I.)とは、「良い」とする回答数から「悪い」とする回答数を引き、全体に占める割合を算出したもので、この指数の変動により、景気の動いている方向を判断するために用いられます。

## 1. 業況

























### 業況判断 D.I.は2期連続で改善、来期も改善傾向が続く見通し

今期(2018.10~12)の企業の景況感を示す全業種の業況判断D.I.は△5.0と前期(2018.7~9:△10.4)との比較で5.4ポイント改善、2期連続で持ち直しの動きが見られました。業種別の業況判断D.I.では全業種で改善し、このうち卸売業、建設業、サービス業では前期に引き続き2期連続で改善となりました。

独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施し、日本商工会議所他2団体が実査した全国調査（以後「全国調査」という。）との比較では、全業種の業況判断D.I.は全国調査を13.0ポイント上回っているほか、業種別の業況判断でも全ての業種で全国調査を上回る結果となっています。

来期（2019.1~3）の業況判断D.I.の見通しは△3.9と依然としてマイナス判断が続くものの、今期（2018.10~12:△5.0）との比較で1.1ポイント改善するとしています。業種別ではサービス業以外の業種で横這いまたは改善を予想しているほか、項目別でも売上、採算、従業員増減など全ての判断D.I.で改善するとしています。

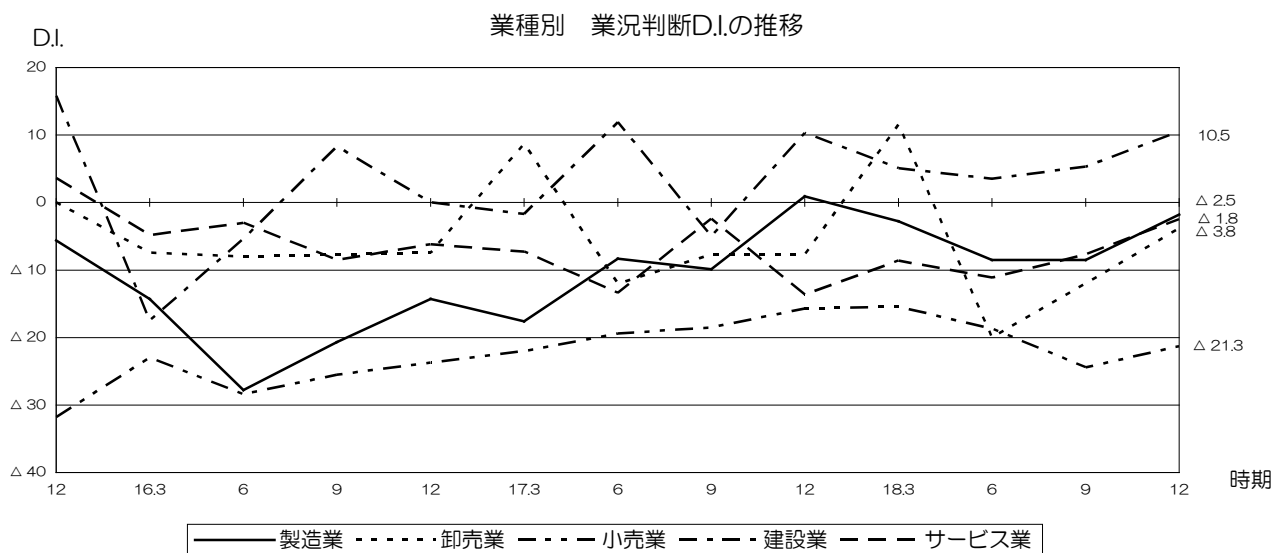
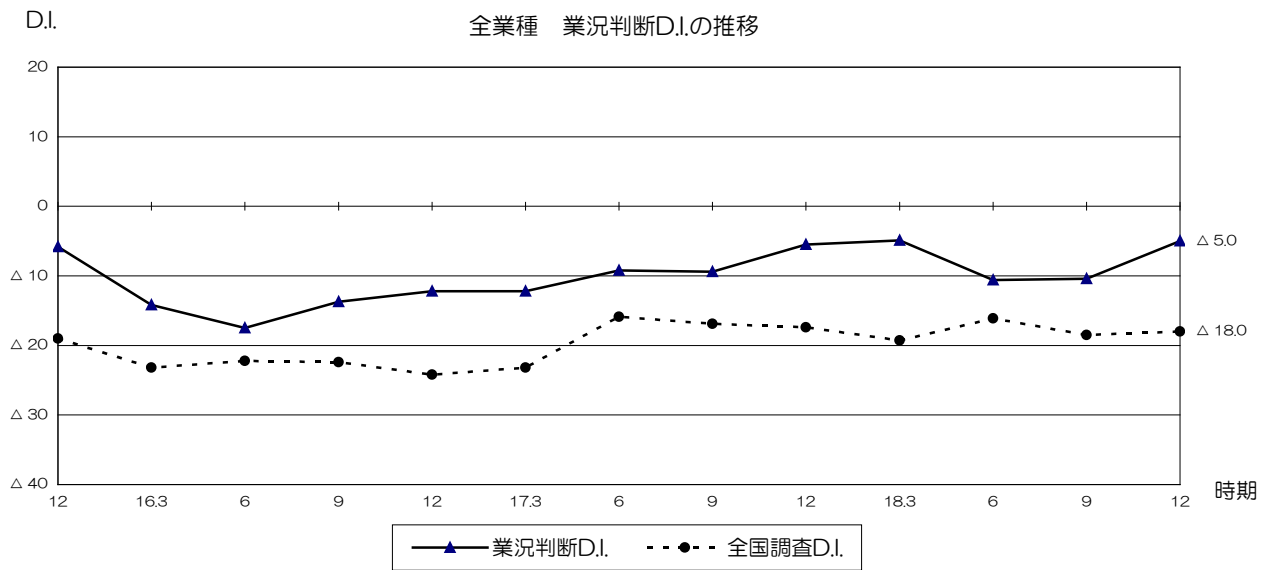
業種別天気図

	前 期 2018.7~9月	今 期 2018.10~12月	全 国 調 査 2018.10~12月	来 期 見 通 し 2019.1~3月
全 業 種				
製 造 業				
卸 売 業				
小 売 業				
建 設 業				
サ ー ビ ス 業				

（この天気図は、景気指標を総合的に判断し作成したものです。また、全国調査は日本商工会議所の調査によるものです。）



## 2. 業況判断D.I.の推移



(対前年同期比判断D.I.)

	前 期 2018.7~9	今 期 2018.10~12	全 国 調 査 2018.10~12	来 期 見 通 し 2019.1~3
全 業 種	△10.4	△5.0	△18.0	△3.9
製 造 業	△8.5	△1.8	△12.5	2.7
卸 売 業	△12.0	△3.8	△13.8	11.5
小 売 業	△24.4	△21.3	△31.0	△18.0
建 設 業	5.3	10.5	△3.8	10.5
サ ー ビ ス 業	△7.7	△2.5	△18.6	△12.5

(全国調査は日本商工会議所の調査によるものです)

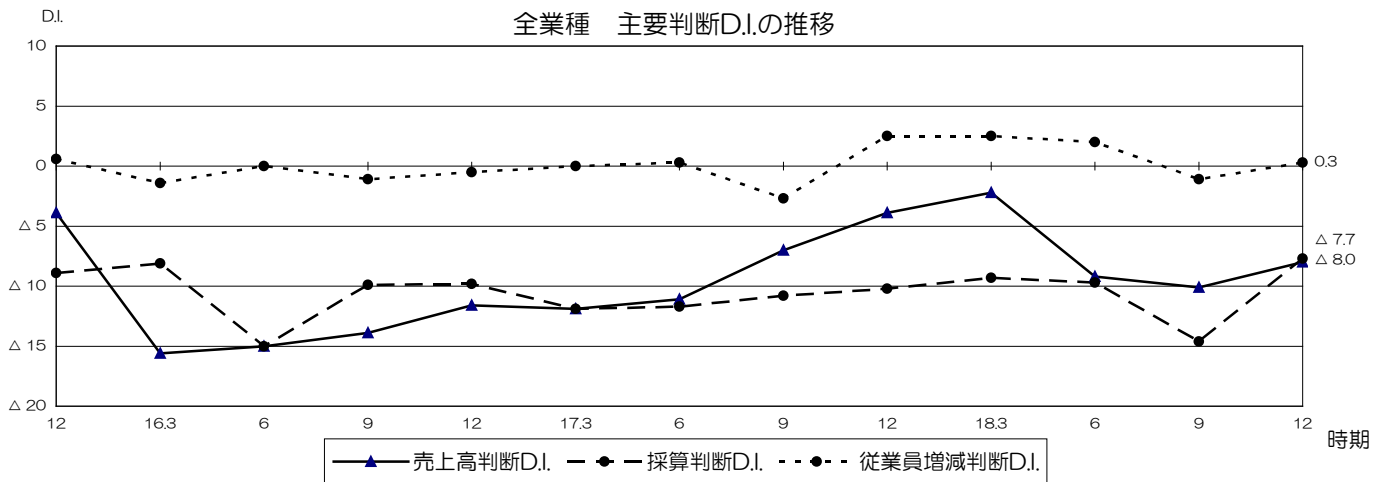
### 3. 売上高、採算、従業員増減の状況

(対前年同期比判断D.I.)

今期(2018.10~12)の売上高判断D.I.は $\Delta 8.0$ と、前期(2018.7~9)との比較で2.1ポイント改善しています。また、採算判断D.I.では6.9ポイント、従業員増減判断D.I.は1.4ポイント改善しています。

	前 期	今 期	来期見通し
売上高	$\Delta 10.1$	$\Delta 8.0$	$\Delta 5.0$
採 算	$\Delta 14.6$	$\Delta 7.7$	$\Delta 6.6$
従業員増減	$\Delta 1.1$	0.3	0.8

来期(2019.1~3)の売上高判断D.I.は $\Delta 5.0$ と、今期(2018.10~12)との比較で3.0ポイント改善すると見通しているほか、採算判断D.I.で1.1ポイント、従業員増減判断D.I.でも0.5ポイントの改善を予想しています。



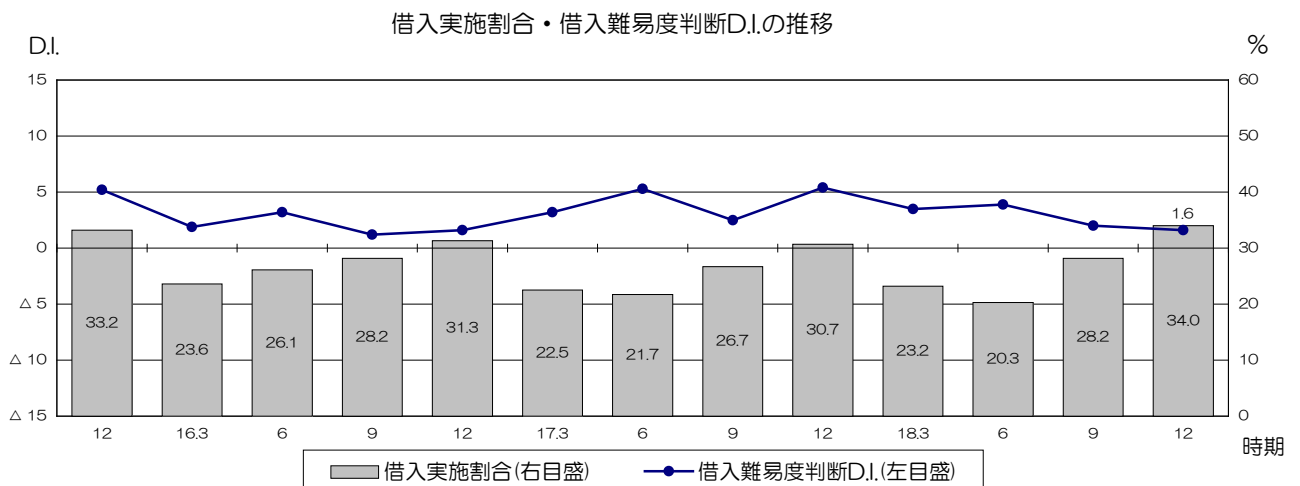
### 4. 借入金の状況

今期(2018.10~12)借入を実施した企業の割合は34.0%と、前期(2018.7~9)との比較で5.8ポイント増加しました。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	28.2%	34.0%	17.9%
借入難易度判断D.I.	2.0	1.6	

来期(2019.1~3)借入を予定する企業の割合は17.9%と、今期(2018.10~12)との比較で16.1ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断D.I.は今期(2018.10~12)1.6と、前期(2018.7~9)との比較で0.4ポイント悪化しています。



## 1. 業況

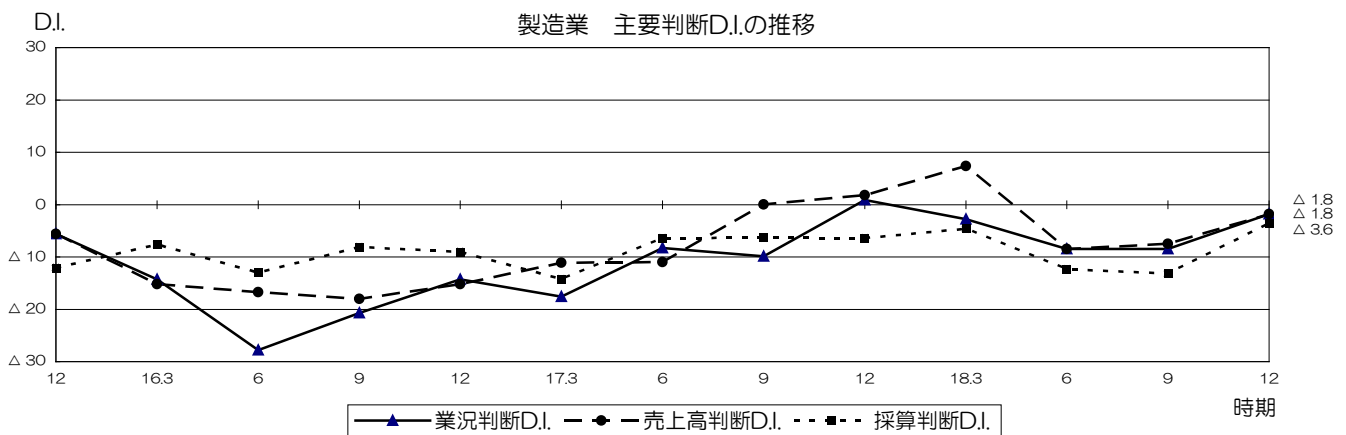
今期 (2018.10~12) の業況判断 D.I.は $\Delta 1.8$ と、前期 (2018.7~9) との比較で 6.7 ポイント改善しているほか、全項目で前期を上回っています。

全国調査との比較では、業況判断 D.I.で全国調査の $\Delta 12.5$ を 10.7 ポイント上回っているほか、全項目で全国調査の判断 D.I.を上回る結果となりました。

来期 (2019.1~3) の業況判断 D.I.は 2.7 と、今期 (2018.10~12) との比較で 4.5 ポイントの改善を予想しているほか、売上(加工)高、資金繰り、採算の項目で今期を上回ると予想しています。

(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	全国調査	来期見通し
業 況	$\Delta 8.5$	$\Delta 1.8$	$\Delta 12.5$	2.7
売上(加工)高	$\Delta 7.5$	$\Delta 1.8$	$\Delta 10.6$	5.5
資金繰り	$\Delta 4.7$	$\Delta 2.7$	$\Delta 10.3$	0.0
採 算	$\Delta 13.2$	$\Delta 3.6$	$\Delta 16.3$	$\Delta 0.9$
原材料仕入単価	23.6	25.5	50.5	18.2
原材料在庫	$\Delta 2.8$	$\Delta 0.9$	$\Delta 3.7$	$\Delta 3.6$
従業員増減	4.7	7.3	$\Delta 1.4$	2.7
設備操業率	$\Delta 8.5$	2.7	$\Delta 4.9$	2.7



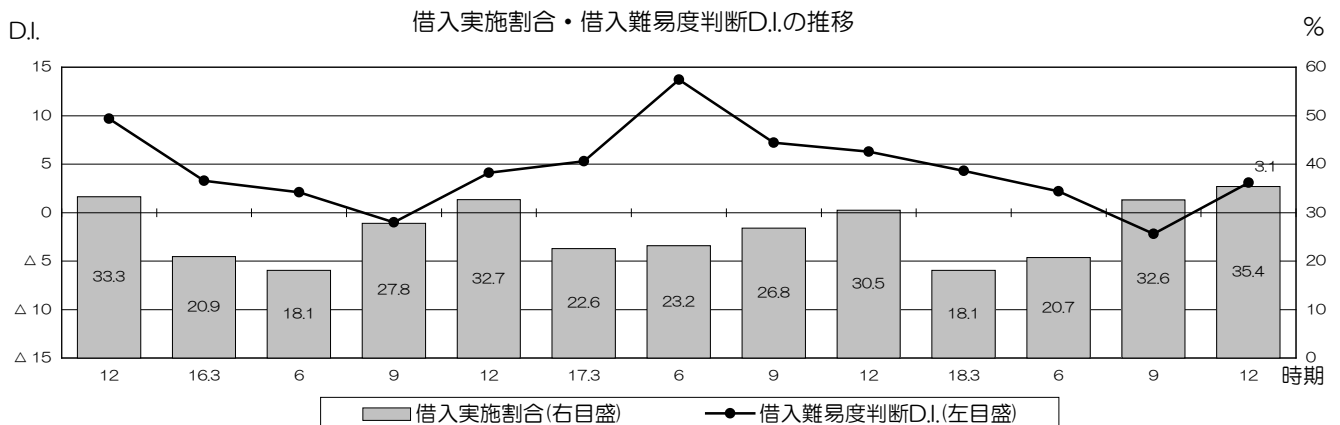
## 2. 借入金の状況

今期 (2018.10~12) 借入を実施した企業の割合は 35.4%と、前期 (2018.7~9) との比較で 2.8 ポイント増加しました。

来期 (2019.1~3) 借入を予定する企業の割合は 17.7%と、今期 (2018.10~12) と比較して 17.7 ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断 D.I.は今期 (2018.10~12)  $\Delta 3.1$ と、前期 (2018.7~9) との比較では 5.3 ポイント改善しています。

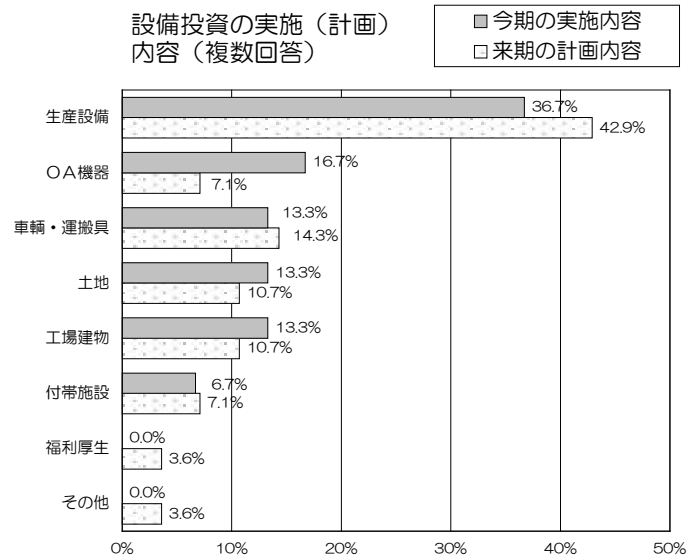
	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	32.6%	35.4%	17.7%
借入難易度判断 D.I.	$\Delta 2.2$	3.1	



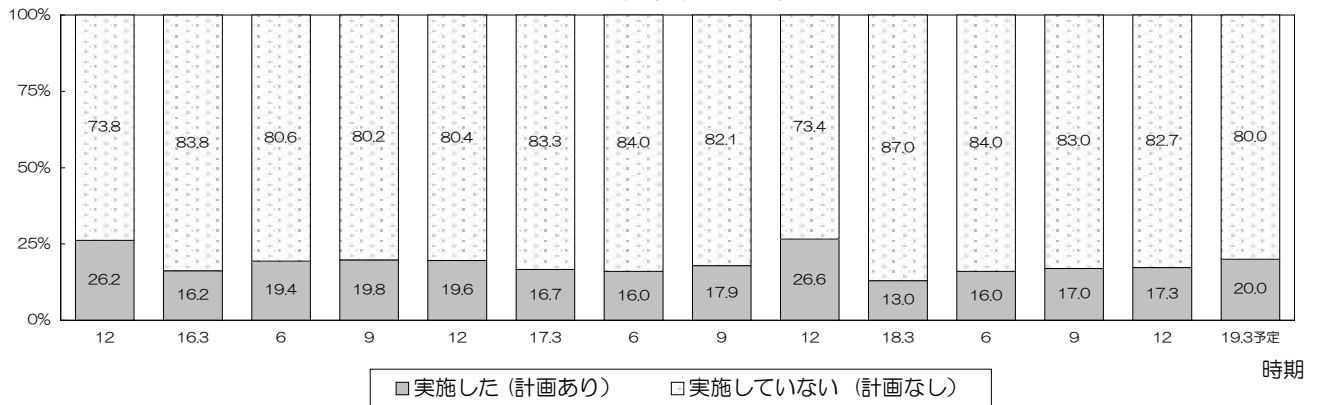
### 3. 設備投資の状況

今期（2018.10～12）設備投資を実施した企業の割合は17.3%と、前期（2018.7～9：17.0%）との比較で0.3ポイント増加しました。設備投資の内訳は、生産設備が36.7%、OA機器が16.7%、工場建物、土地、車輛・運搬具が各々13.3%、付帯施設が6.7%でした。

来期（2019.1～3）設備投資を計画する企業の割合は20.0%と、今期（2018.10～12）と比較して2.7ポイント増加する見込みです。設備投資の内訳は、生産設備が42.9%、車輛・運搬具が14.3%、土地、工場建物が10.7%、OA機器、付帯施設が各々7.1%、福利厚生、その他が各々3.6%となっています。



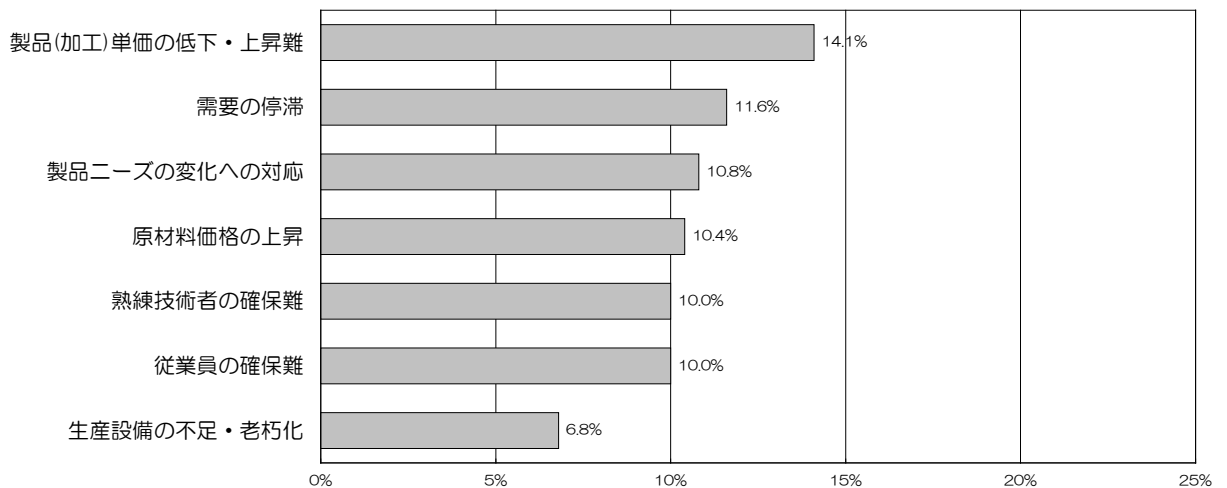
設備投資状況の推移



### 4. 経営上の問題点

主な経営上の問題点は、第1位が「製品（加工）単価の低下・上昇難」で14.1%、第2位が「需要の停滞」で11.6%、第3位が「製品ニーズの変化への対応」で10.8%、第4位が「原材料価格の上昇」で10.4%、第5位が「熟練技術者の確保難」「従業員の確保難」で各々10.0%、第6位が「生産設備の不足・老朽化」で6.8%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



## 1. 業況

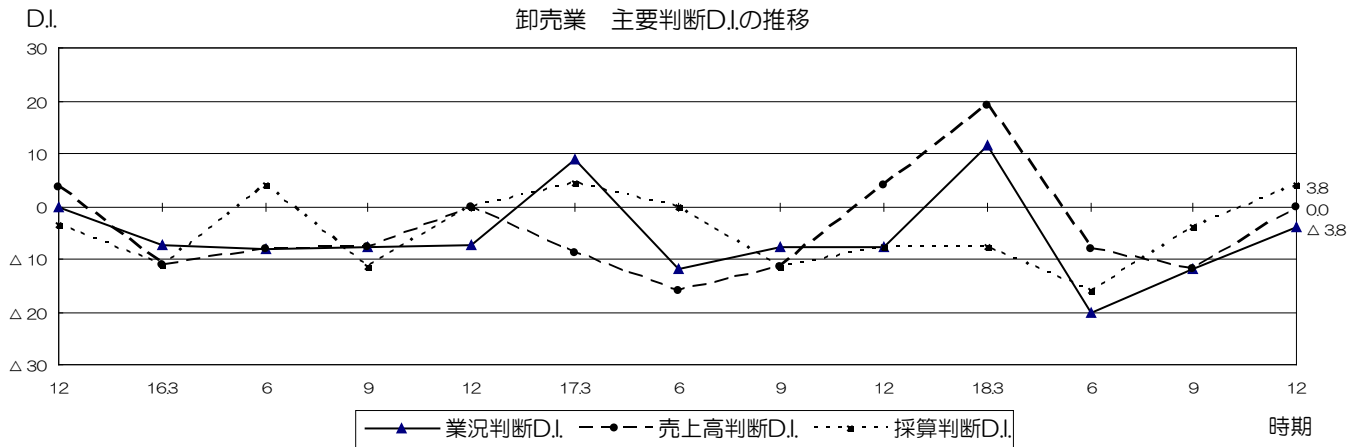
今期 (2018.10~12) の業況判断 D.I.は $\Delta 3.8$ と、前期 (2018.7~9) との比較で 8.2 ポイント改善しているほか、売上単価、仕入単価、従業員増減以外の項目で前期を上回っています。

全国調査との比較では、業況判断 D.I.で全国調査の $\Delta 13.8$ を 10.0 ポイント上回っているほか、売上単価、仕入単価、従業員増減以外の項目で全国調査の判断 D.I.を上回る結果となりました。

来期 (2019.1~3) の業況判断 D.I.は 11.5 と 15.3 ポイントの改善が予想されるほか、在庫数量以外の項目で横這いまたは今期を上回ると予想しています。

(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	全国調査	来期見通し
業 況	$\Delta 12.0$	$\Delta 3.8$	$\Delta 13.8$	11.5
売 上 高	$\Delta 12.0$	0.0	$\Delta 10.2$	11.5
資 金 繰 り	$\Delta 4.0$	7.7	$\Delta 8.3$	7.7
採 算	$\Delta 4.0$	3.8	$\Delta 16.8$	3.8
売上単価	16.0	0.0	12.7	3.8
仕入単価	20.0	15.4	39.5	15.4
在庫数量	0.0	3.8	$\Delta 7.8$	0.0
従業員増減	0.0	$\Delta 11.5$	$\Delta 1.0$	3.8



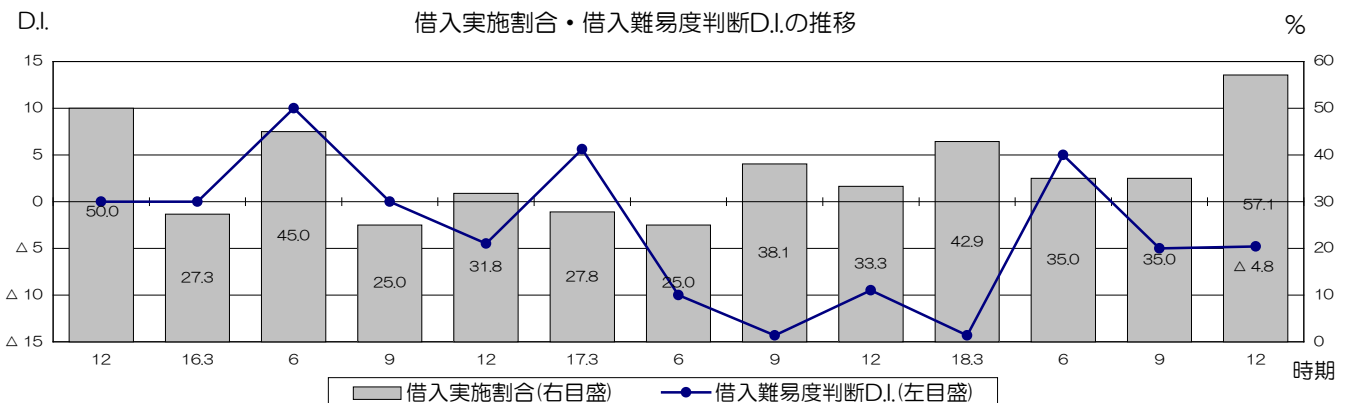
## 2. 借入金の状況

今期 (2018.10~12) 借入を実施した企業の割合は 57.1%と、前期 (2018.7~9) との比較で 22.1 ポイント増加しました。

来期 (2019.1~3) 借入を予定する企業の割合は 23.8%と、今期 (2018.10~12) と比較して 33.3 ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断 D.I.は今期 (2018.10~12)  $\Delta 4.8$ と、前期 (2018.7~9) との比較では 0.2 ポイント改善しています。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	35.0%	57.1%	23.8%
借入難易度判断 D.I.	$\Delta 5.0$	$\Delta 4.8$	

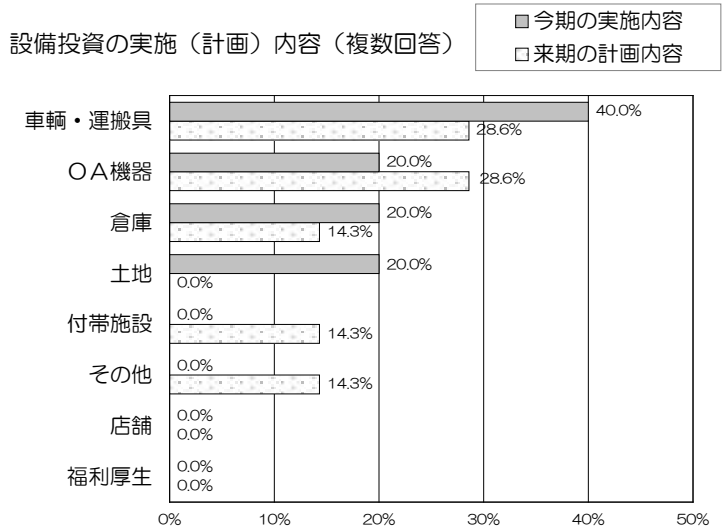




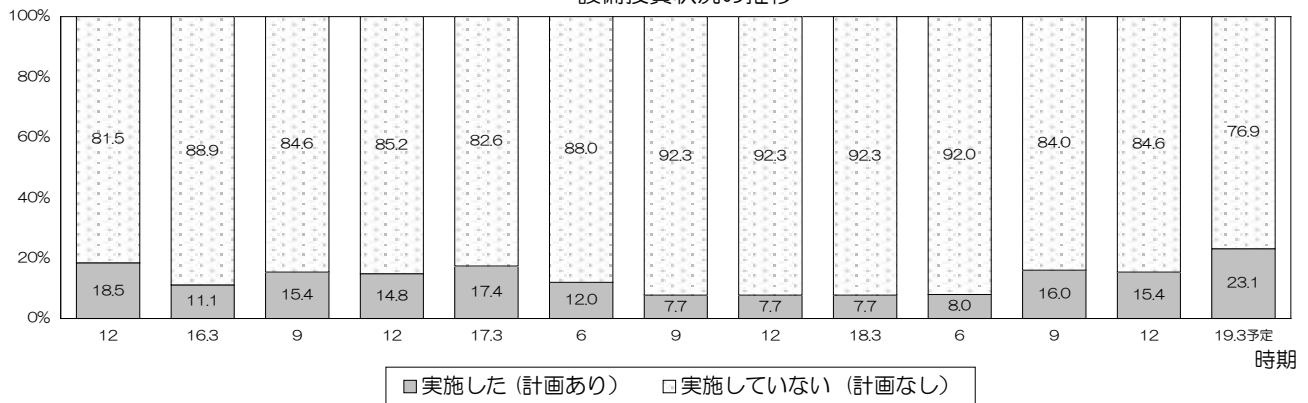
### 3. 設備投資の状況

今期（2018.10～12）設備投資を実施した企業の割合は15.4%と、前期（2018.7～9：16.0%）との比較で0.6ポイント減少しました。設備投資の内訳は、車輛・運搬具が40.0%、OA機器、倉庫、土地が各々20.0%でした。

来期（2019.1～3）設備投資を計画する企業の割合は23.1%と、今期（2018.10～12）と比較して7.7ポイント増加する見込みです。設備投資の内訳は、車輛・運搬具、OA機器が各々28.6%、倉庫、付帯施設、その他が各々14.3%となっています。



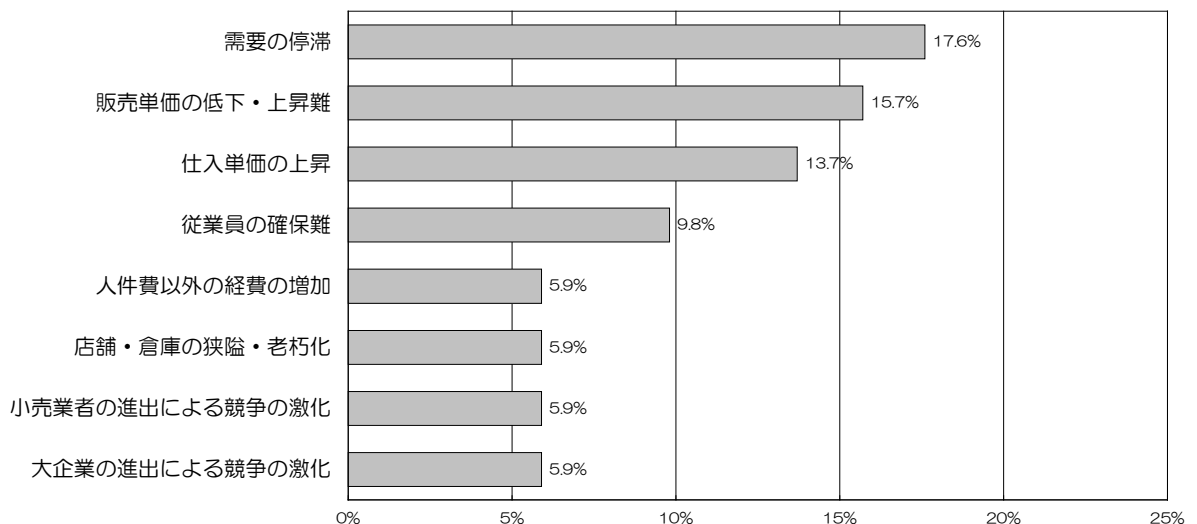
設備投資状況の推移



### 4. 経営上の問題点

主な経営上の問題点は、第1位が「需要の停滞」で17.6%、第2位が「販売単価の低下・上昇難」で15.7%、第3位が「仕入単価の上昇」で13.7%、第4位が「従業員の確保難」で9.8%、第5位が「人件費以外の経費の増加」「店舗・倉庫の狭隘・老朽化」「小売業者の進出による競争の激化」「大企業の進出による競争の激化」が各々5.9%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



# 小売業

2018.10~12月期 (回答 93 社・・・回答率 100.0%)

## 1. 業況

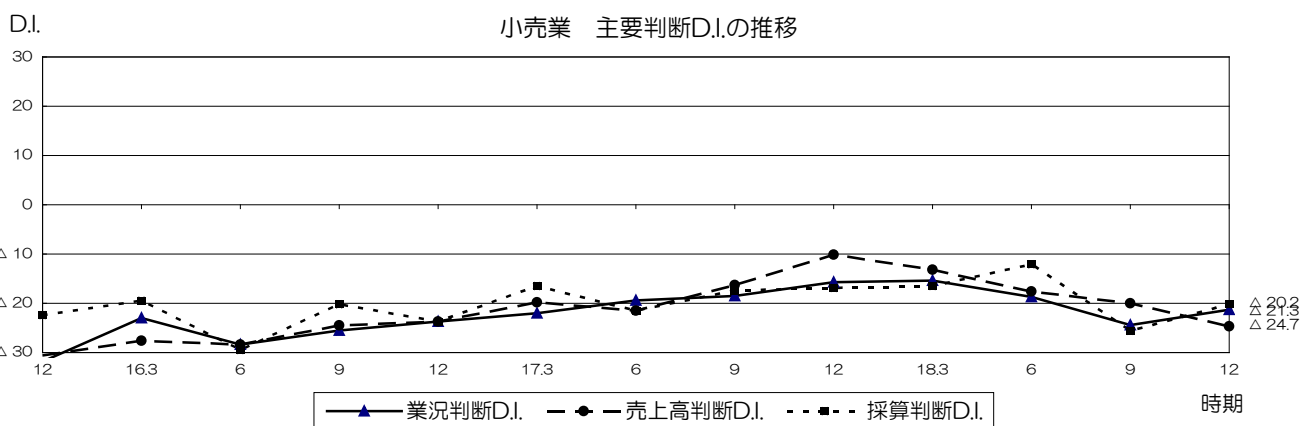
(対前年同期比判断D.I.)

今期(2018.10~12)の業況判断D.I.は $\Delta 21.3$ と、前期(2018.7~9)との比較で3.1ポイント改善しているほか、売上高、資金繰り、従業員増減以外の項目で前期を上回っています。

全国調査との比較では、業況判断D.I.で全国調査の $\Delta 31.0$ を9.7ポイント上回っているほか、仕入単価以外の項目で全国調査の判断D.I.を上回る結果となりました。

来期(2019.1~3)の業況判断D.I.は $\Delta 18.0$ と、今期(2018.10~12)との比較で3.3ポイント改善を予想しているほか、売上高、資金繰り、在庫数量の項目でも今期を上回ると予想しています。

	前 期	今 期	全国調査	来期見通し
業 況	$\Delta 24.4$	$\Delta 21.3$	$\Delta 31.0$	$\Delta 18.0$
売 上 高	$\Delta 20.0$	$\Delta 24.7$	$\Delta 29.7$	$\Delta 22.5$
資 金 繰 り	$\Delta 14.4$	$\Delta 16.9$	$\Delta 22.7$	$\Delta 14.6$
採 算	$\Delta 25.6$	$\Delta 20.2$	$\Delta 31.2$	$\Delta 20.2$
売 上 単 価	$\Delta 13.3$	$\Delta 9.0$	$\Delta 19.5$	$\Delta 11.2$
仕 入 単 価	23.3	25.8	25.8	22.5
在 庫 数 量	$\Delta 4.4$	0.0	$\Delta 17.6$	3.4
従 業 員 増 減	2.2	$\Delta 2.3$	$\Delta 6.2$	$\Delta 3.4$



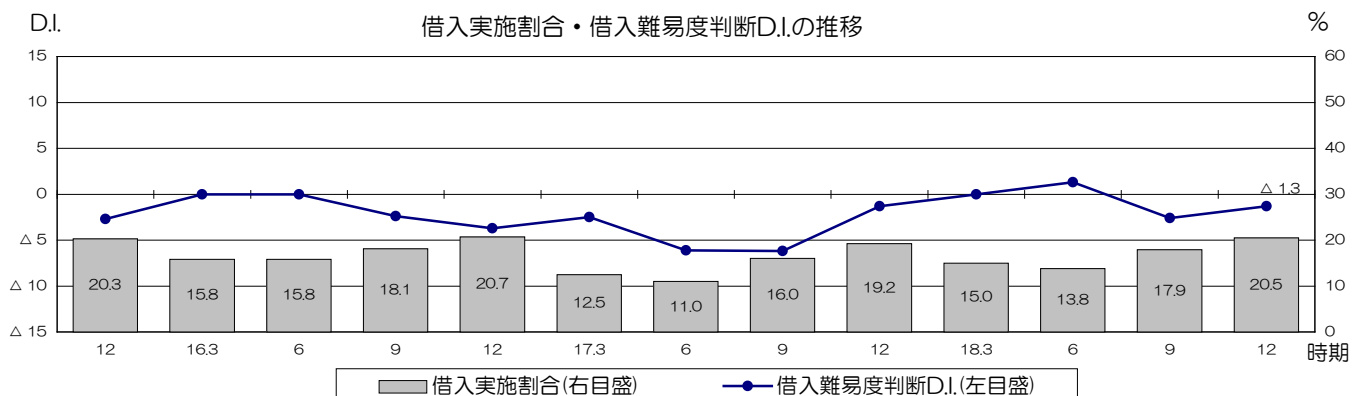
## 2. 借入金の状況

今期(2018.10~12)借入を実施した企業の割合は20.5%と、前期(2018.7~9)と比較して2.6ポイント増加しました。

来期(2019.1~3)借入を予定する企業の割合は10.3%と、今期(2018.10~12)と比較して10.2ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断D.I.は今期(2018.10~12)  $\Delta 1.3$ と、前期(2018.7~9)との比較では1.3ポイント改善しています。

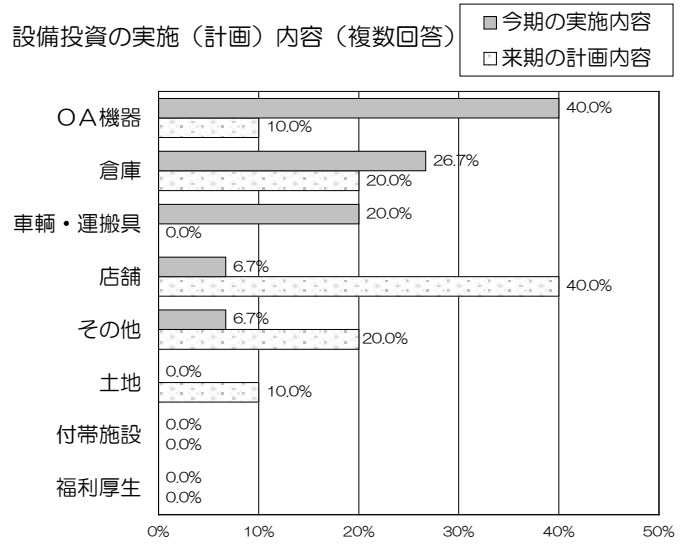
	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	17.9%	20.5%	10.3%
借入難易度判断D.I.	$\Delta 2.6$	$\Delta 1.3$	



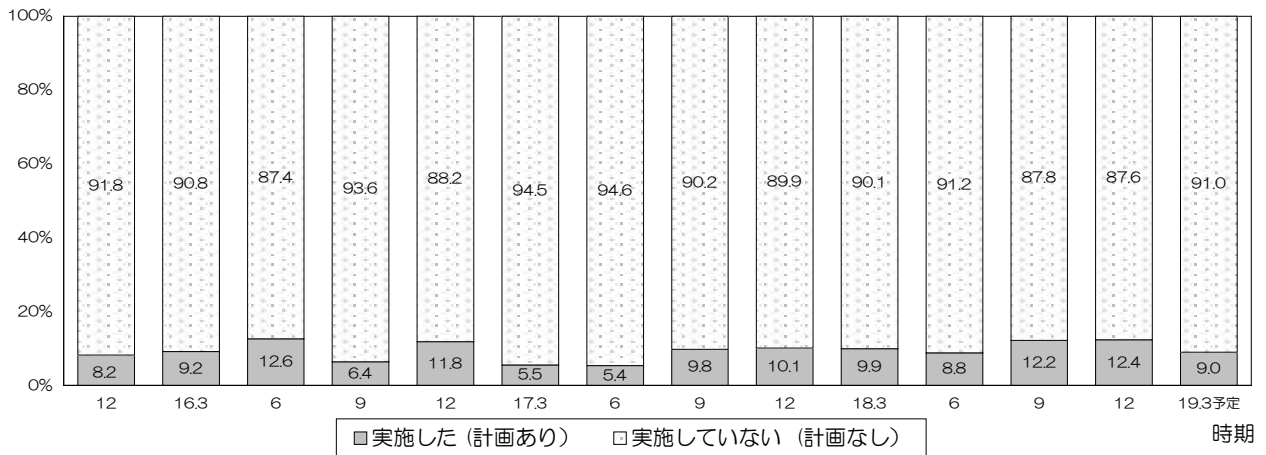
### 3. 設備投資の状況

今期（2018.10～12）設備投資を実施した企業の割合は12.4%と、前期（2018.7～9：12.2%）との比較で0.2ポイント増加しました。設備投資の内訳は、OA機器が40.0%、倉庫が26.7%、車輛・運搬具が20.0%、店舗、その他が各々6.7%でした。

来期（2019.1～3）設備投資を計画する企業の割合は9.0%と、今期（2018.10～12）と比較して3.4ポイント減少する見込みです。設備投資の内訳は、店舗が40.0%、倉庫、その他が各々20.0%、OA機器、土地が各々10.0%となっています。



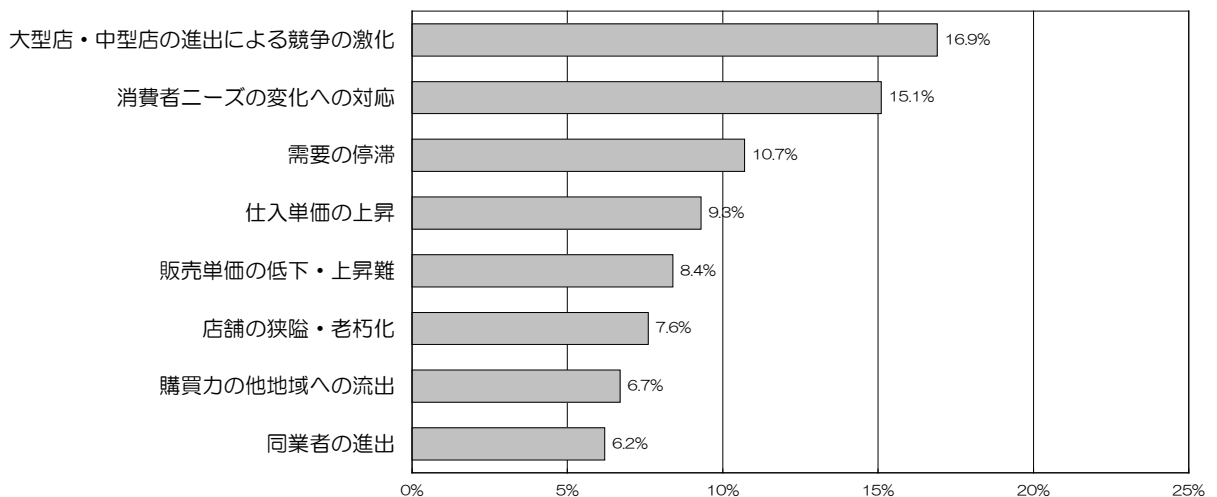
設備投資状況の推移



### 4. 経営上の問題点

経営上の問題点は、第1位が「大型店・中型店の進出による競争の激化」で16.9%、第2位が「消費者ニーズの変化への対応」で15.1%、第3位が「需要の停滞」で10.7%、第4位が「仕入単価の上昇」で9.3%、第5位が「販売単価の低下・上昇難」で8.4%、第6位が「店舗の狭隘・老朽化」で7.6%、第7位が「購買力の他地域への流出」で6.7%、第8位が「同業者の進出」で6.2%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



## 1. 業況

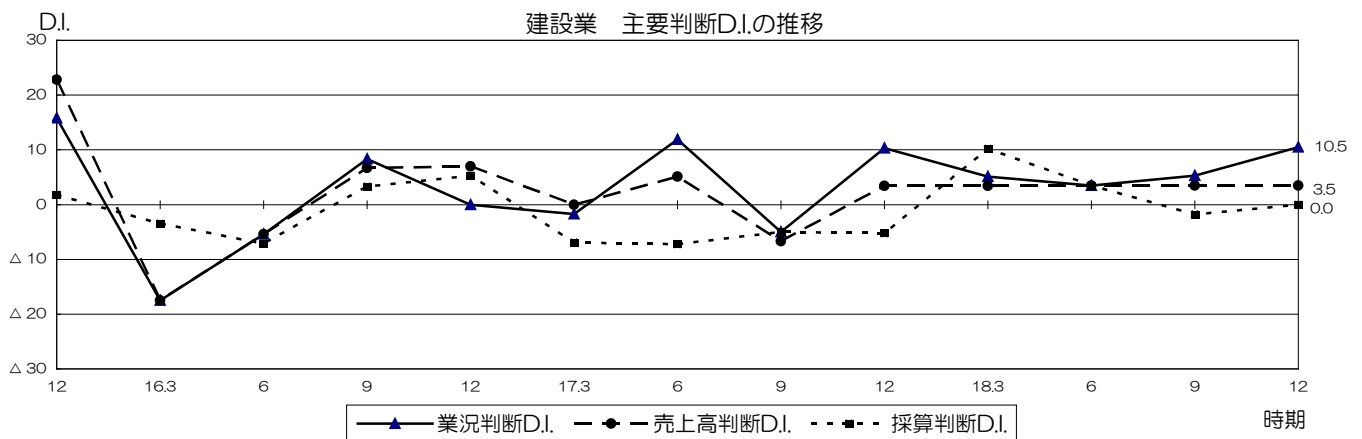
今期 (2018.10~12) の業況判断 D.I.は 10.5 と、前期 (2018.7~9) との比較で 5.2 ポイント改善しているほか、売上高以外の項目で前期を上回っています。

全国調査との比較では、業況判断 D.I.で全国調査の△3.8 を 14.3 ポイント上回っているほか、材料単価以外の項目で全国調査の判断 D.I.を上回る結果となりました。

来期 (2019.1~3) の業況判断 D.I.は 10.5 と、今期 (2018.10~12) との比較で横這いを予想しているものの、資金繰り、採算以外の項目で今期を上回ると予想しています。

(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	全国調査	来期見通し
業 況	5. 3	10. 5	△3. 8	10. 5
売 上 高	3. 5	3. 5	△5. 0	8. 8
資 金 繰 り	△1. 8	8. 8	△2. 4	3. 5
採 算	△1. 8	0. 0	△11. 8	△3. 5
受 注 額	8. 8	12. 3	△2. 9	15. 8
材 料 単 価	24. 6	28. 1	43. 1	29. 8
従業員増減	△5. 3	△3. 5	△3. 4	5. 3



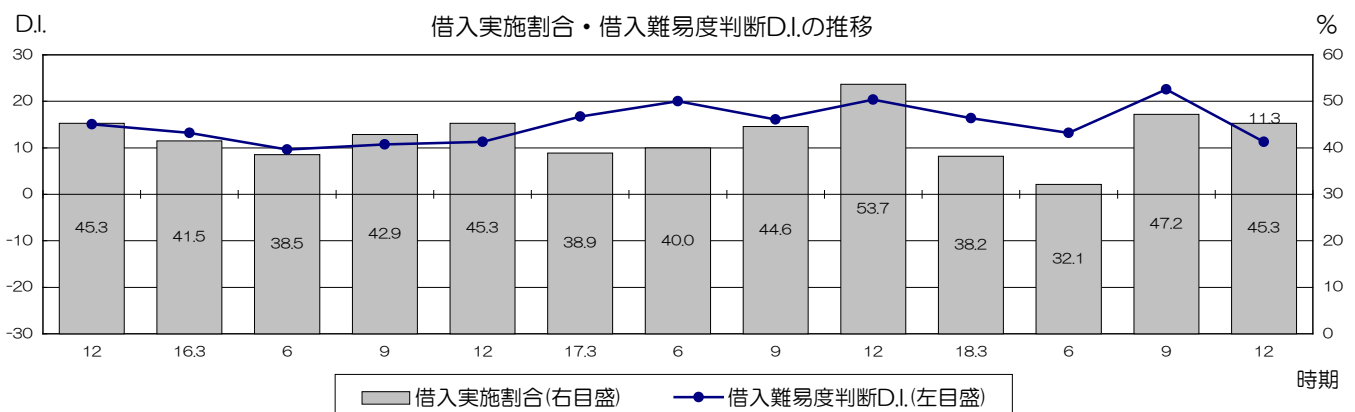
## 2. 借入金の状況

今期 (2018.10~12) 借入を実施した企業の割合は 45.3%と、前期 (2018.7~9) と比較して 1.9 ポイント減少しました。

来期 (2019.1~3) 借入を予定する企業の割合は 34.0%と、今期 (2018.10~12) と比較して 11.3 ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断D.I.は今期 (2018.10~12) 11.3 と、前期 (2018.7~9) との比較では 11.3 ポイント悪化しています。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	47. 2%	45. 3%	34. 0%
借入難易度判断 D.I.	22. 6	11. 3	

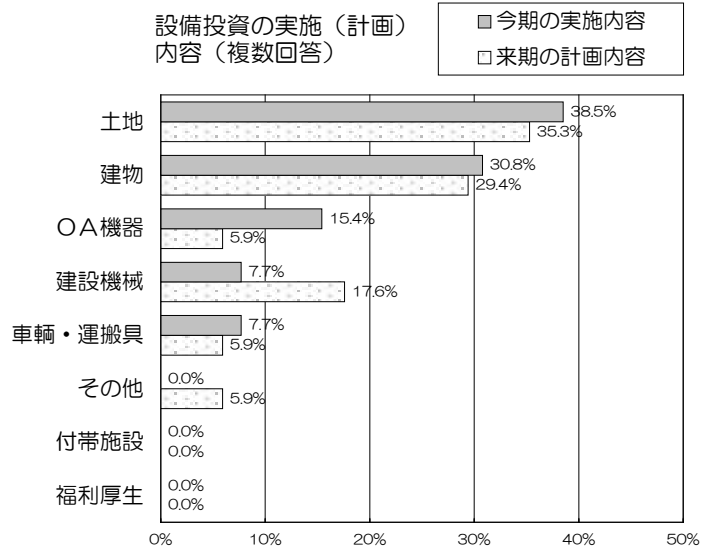


### 3. 設備投資の状況

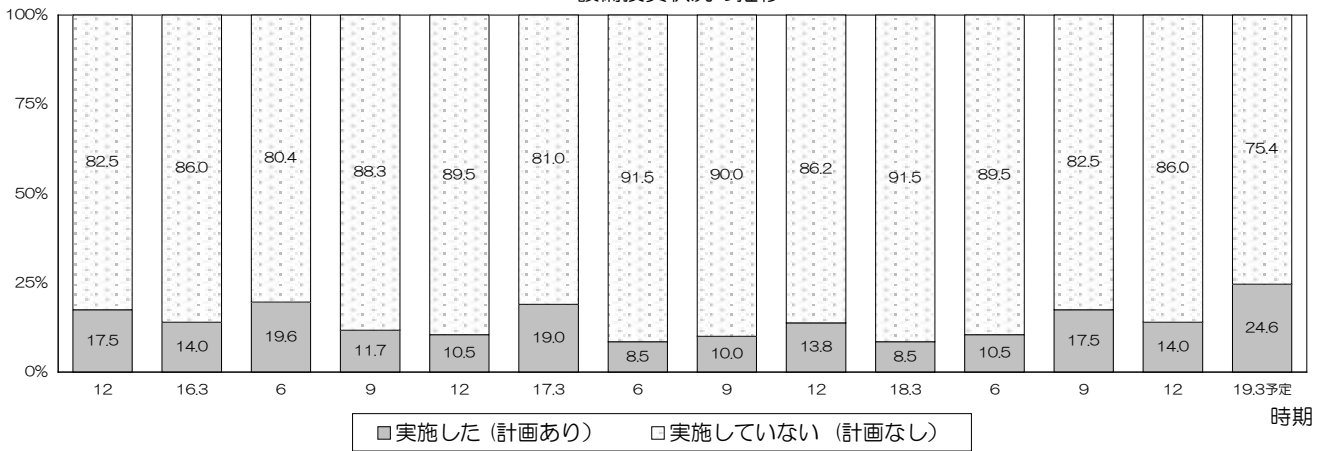
今期（2018.10～12）設備投資を実施した企業の割合は14.0%と、前期（2018.7～9：17.5%）との比較で3.5ポイント減少しました。

設備投資の内訳は、土地が38.5%、建物が30.8%、OA機器が15.4%、建設機械、車輛・運搬具が各々7.7%でした。

来期（2019.1～3）設備投資を計画する企業の割合は24.6%と、今期（2018.10～12）との比較で10.6ポイント増加する見込みです。設備投資の内訳は、土地が35.3%、建物が29.4%、建設機械が17.6%、OA機器、車輛・運搬具、その他が各々5.9%となっています。



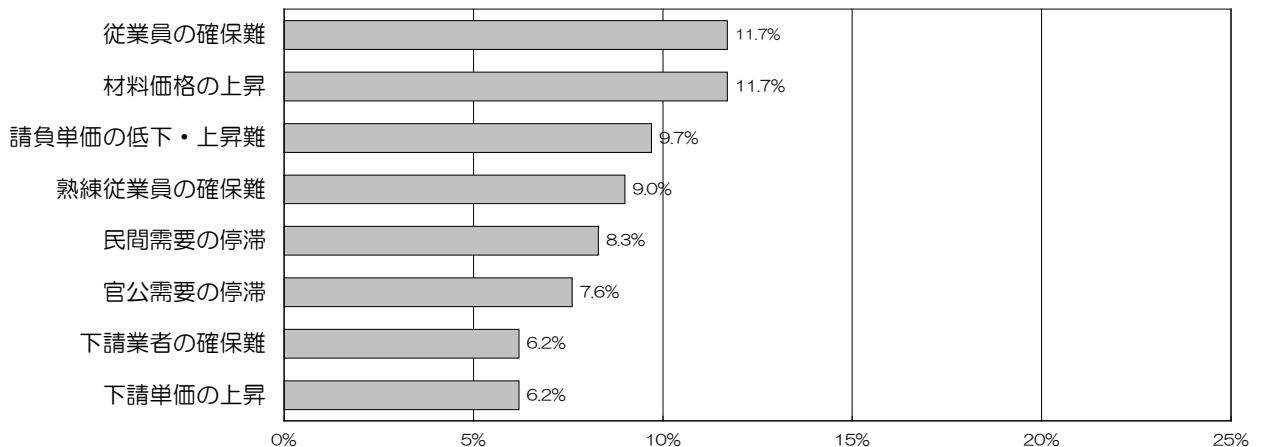
設備投資状況の推移



### 4. 経営上の問題点

経営上の問題点は、第1位が「従業員の確保難」「材料価格の上昇」で各々11.7%、第2位が「請負単価の低下・上昇難」で9.7%、第3位が「熟練従業員の確保難」で9.0%、第4位が「民間需要の停滞」で8.3%、第5位が「官公需要の停滞」で7.6%、第6位が「下請業者の確保難」「下請単価の上昇」で各々6.2%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



# サービス業

2018.10~12月期 (回答 81 社・・・回答率 94.2%)

## 1. 業況

今期 (2018.10~12) の業況判断 D.I.は $\Delta 2.5$ と、前期 (2018.7~9) との比較で 5.2 ポイント改善しているほか、客単価、従業員増減以外の項目で前期を上回っています。

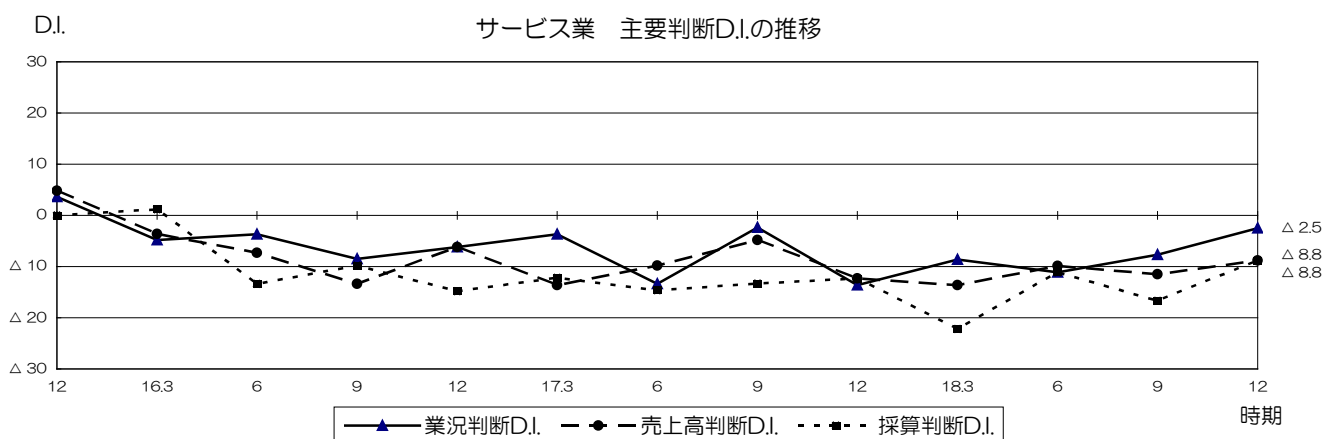
全国調査との比較では、業況判断 D.I.で全国調査の $\Delta 18.6$ を 16.1 ポイント上回っているほか、客単価、仕入単価以外の項目で全国調査の判断 D.I.を上回っています。

来期(2019.1~3)の業況判断 D.I.は $\Delta 12.5$ と、

今期 (2018.10~12) との比較で 10.0 ポイントの悪化を予想しているほか、売上高、資金繰り、仕入単価の項目で今期を下回ると予想しています。

(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	全国調査	来期見通し
業 況	$\Delta 7.7$	$\Delta 2.5$	$\Delta 18.6$	$\Delta 12.5$
売 上 高	$\Delta 11.5$	$\Delta 8.8$	$\Delta 17.1$	$\Delta 15.0$
資 金 繰 り	$\Delta 6.4$	$\Delta 3.8$	$\Delta 12.8$	$\Delta 6.3$
採 算	$\Delta 16.7$	$\Delta 8.8$	$\Delta 21.4$	$\Delta 5.0$
客 単 価	$\Delta 10.3$	$\Delta 12.5$	$\Delta 7.2$	$\Delta 10.0$
仕 入 単 価	15.4	20.3	35.0	7.6
従 業 員 増 減	$\Delta 2.6$	$\Delta 2.6$	$\Delta 6.3$	$\Delta 1.3$



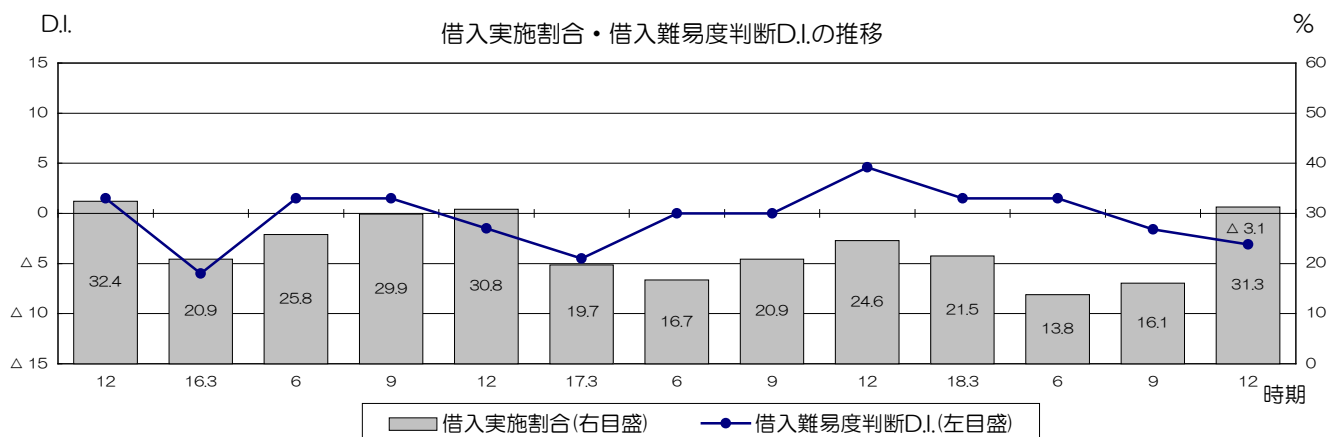
## 2. 借入金の状況

今期 (2018.10~12) 借入を実施した企業の割合は 31.3%と、前期 (2018.7~9) と比較して 15.2 ポイント増加しました。

来期 (2019.1~3) 借入を予定する企業の割合は 12.5%と、今期 (2018.10~12) と比較して 18.8 ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断 D.I.は今期 (2018.10~12)  $\Delta 3.1$  と、前期 (2018.7~9) との比較では 1.5 ポイント悪化しています。

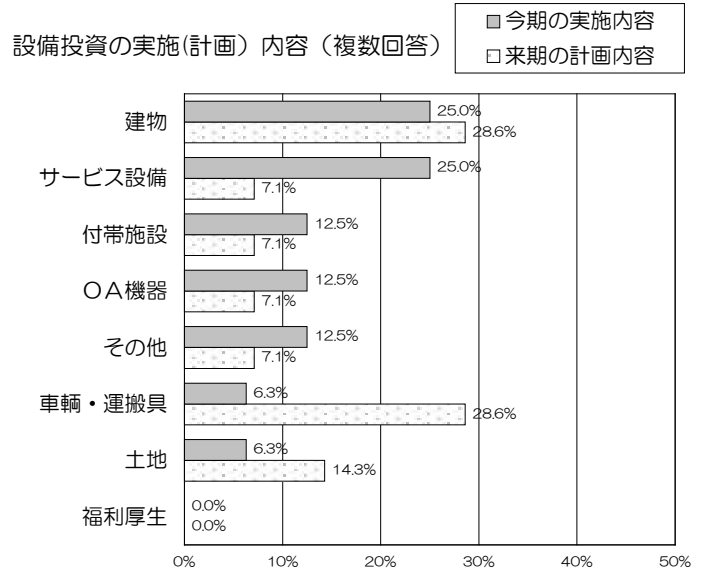
	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	16.1%	31.3%	12.5%
借入難易度判断 D.I.	$\Delta 1.6$	$\Delta 3.1$	



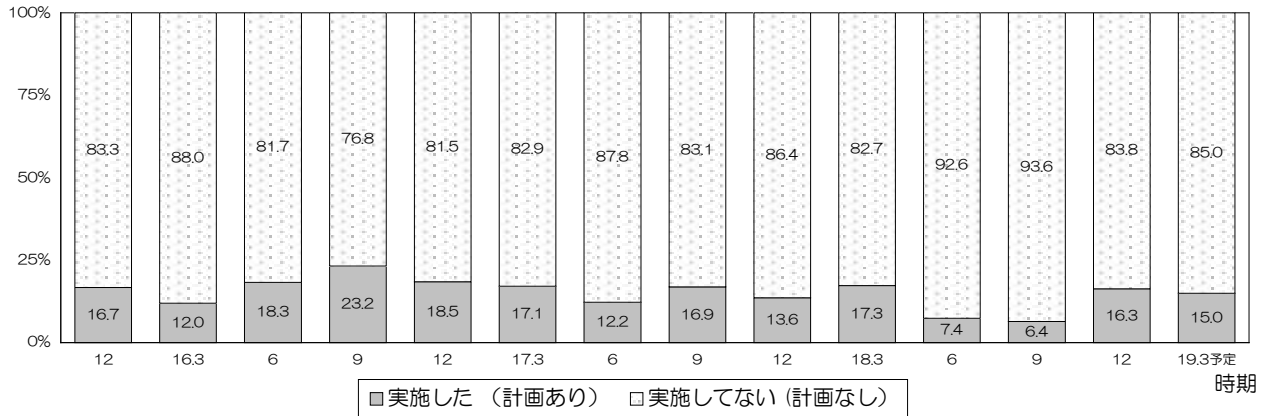
### 3. 設備投資の状況

今期（2018.10～12）設備投資を実施した企業の割合は16.3%と、前期（2018.7～9：6.4%）との比較で9.9ポイント増加しました。設備投資の内訳は、建物、サービス設備が各々25.0%、付帯施設、OA機器、その他が各々12.5%、車輛・運搬具、土地が各々6.3%でした。

来期（2019.1～3）設備投資を計画する企業の割合は15.0%と、今期（2018.10～12）と比較して1.3ポイント減少する見込みです。設備投資の内訳は、建物、車輛・運搬具が各々28.6%、土地が14.3%、サービス設備、付帯施設、OA機器、その他が各々7.1%となっています。



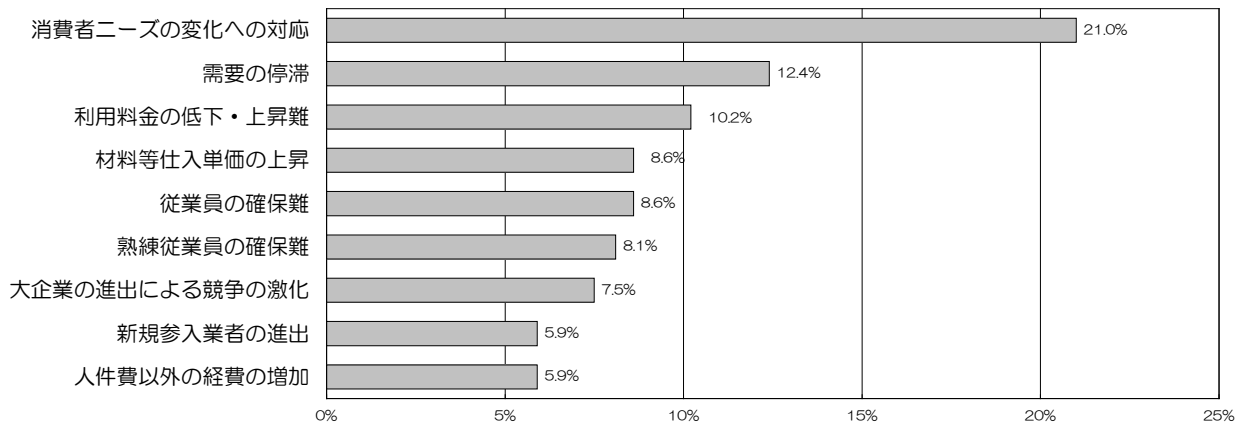
設備投資状況の推移



### 4. 経営上の問題点

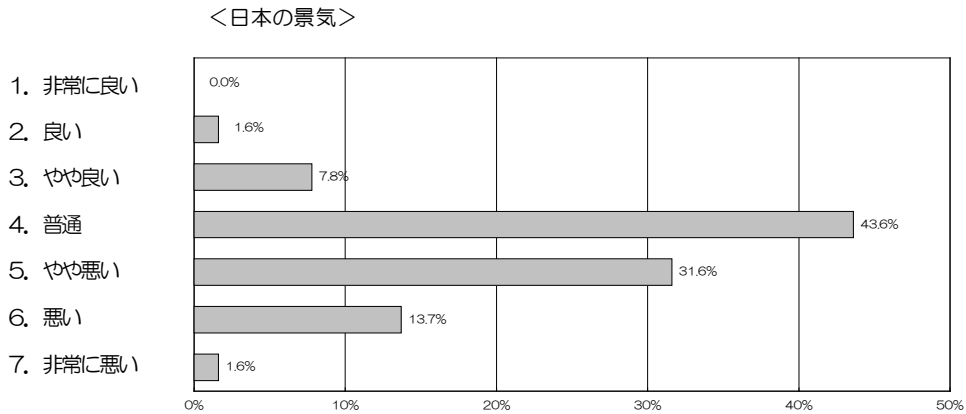
主な経営上の問題点は、第1位が「消費者ニーズの変化への対応」で21.0%、第2位が「需要の停滞」で12.4%、第3位が「利用料金の低下・上昇難」で10.2%、第4位が「材料等仕入単価の上昇」「従業員の確保難」で各々8.6%、第5位が「熟練従業員の確保難」で8.1%、第6位が「大企業の進出による競争の激化」で7.5%、第7位が「新規参入業者の進出」「人件費以外の経費の増加」で各々5.9%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点(複数回答)

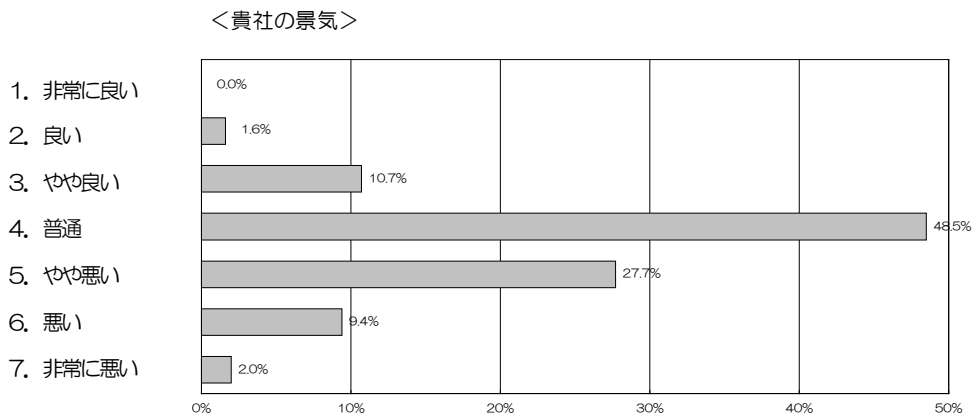


## 「2019年の経営見通し」

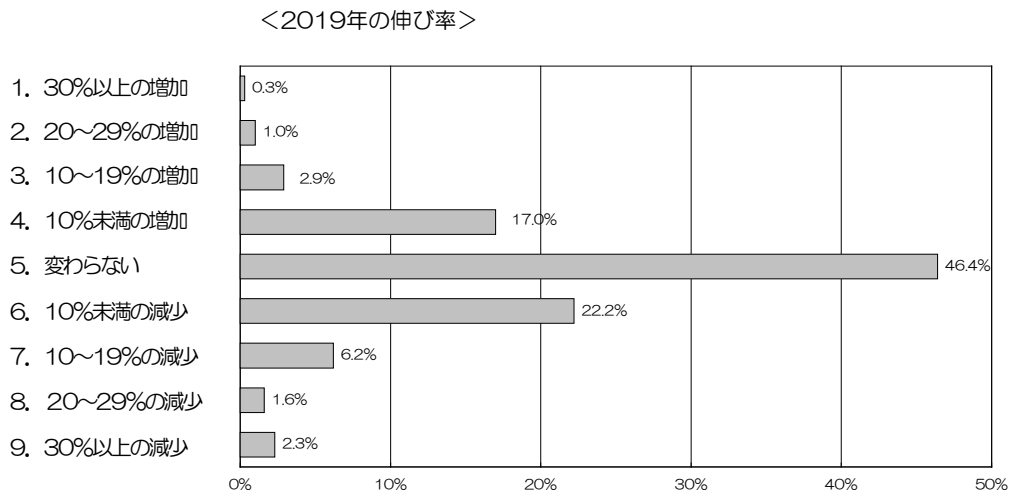
問1 貴社では、2019年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。



問2 貴社では、2019年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

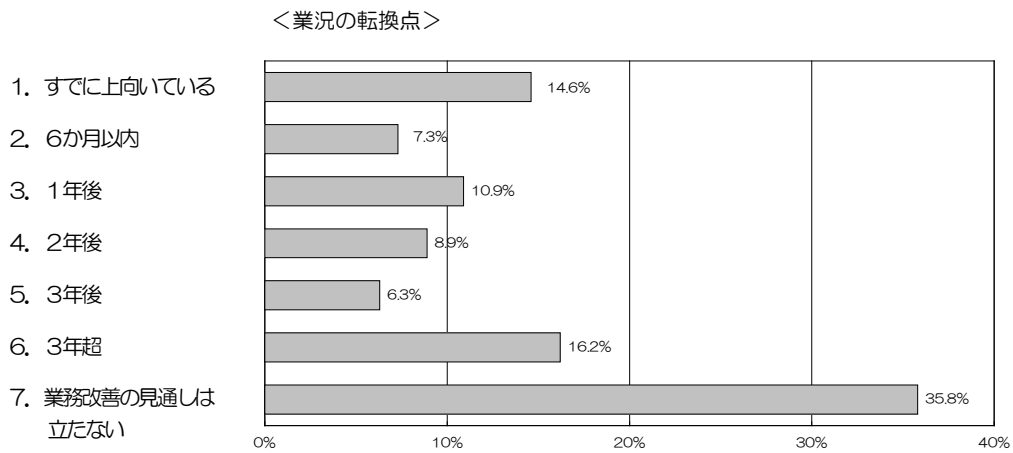


問3 2019年において貴社の売上額の伸び率は、2018年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

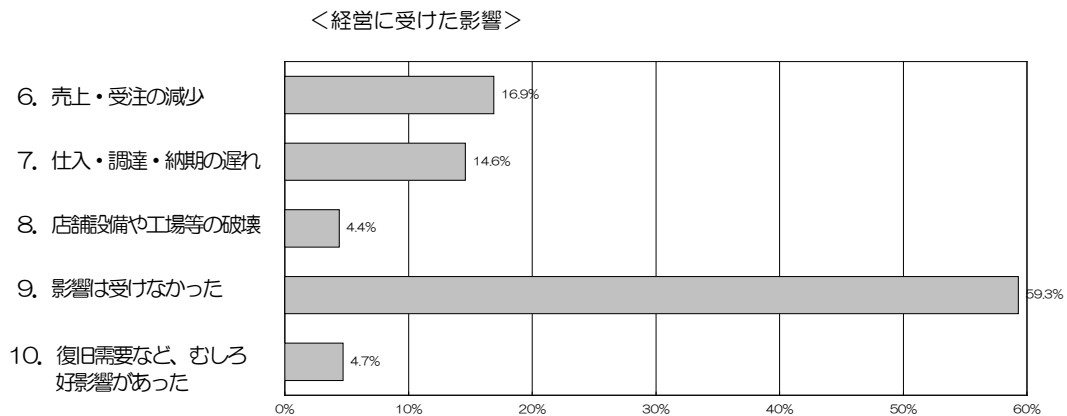
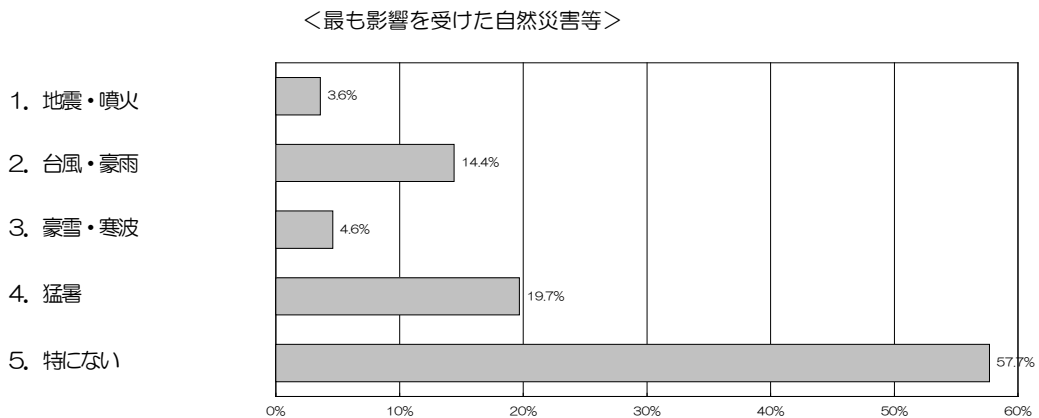




問4 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。



問5 2018年は、地震や台風などの自然災害が相次いだほか、豪雪・寒波や豪雨、猛暑といった異常気象も各地で発生しました。2018年の貴社の経営について、最も影響を受けた自然災害や異常気象を1～5の中から1つ選んでお答えください。また、受けた影響について、最も当てはまるものを6～10の中から1つ選んでお答えください。



# 集計結果 (2018.10~12月期)

(単位：%)

		今期の状況								来期見通し			
		対前年同期比				対前期比				対前年同期比			
		良い	不変	悪い	D.I.	良い	不変	悪い	D.I.	良い	不変	悪い	D.I.
全業種	業況	12.7	69.6	17.7	△ 5.0	14.6	74.9	10.5	4.1	10.2	75.7	14.1	△ 3.9
	売上	14.6	62.7	22.7	△ 8.0	19.3	66.6	14.1	5.2	11.6	71.8	16.6	△ 5.0
	資金繰り	7.5	81.2	11.3	△ 3.9	8.3	83.1	8.6	△ 0.3	5.5	85.1	9.4	△ 3.9
	採算	8.0	76.2	15.7	△ 7.7					6.1	81.2	12.7	△ 6.6
	従業員増減	6.4	87.5	6.1	0.3					4.7	91.3	3.9	0.8
	借入難易度					10.3	81.1	8.7	1.6				
製造業	業況	17.3	63.6	19.1	△ 1.8	17.3	72.7	10.0	7.3	14.5	73.6	11.8	2.7
	売上	18.2	61.8	20.0	△ 1.8	22.7	67.3	10.0	12.7	18.2	69.1	12.7	5.5
	資金繰り	9.1	79.1	11.8	△ 2.7	10.9	81.8	7.3	3.6	8.2	83.6	8.2	0.0
	採算	10.0	76.4	13.6	△ 3.6					6.4	86.4	7.3	△ 0.9
	原材料単価	25.5	74.5	0.0	25.5					18.2	81.8	0.0	18.2
	原材料在庫	6.4	86.4	7.3	△ 0.9					2.7	90.9	6.4	△ 3.6
	従業員増減	10.0	87.3	2.7	7.3					7.3	88.2	4.5	2.7
	設備操業率	10.9	80.9	8.2	2.7					9.1	84.5	6.4	2.7
	借入難易度									14.6	74.0	11.5	3.1
卸売業	業況	7.7	80.8	11.5	△ 3.8	23.1	73.1	3.8	19.2	15.4	80.8	3.8	11.5
	売上	11.5	76.9	11.5	0.0	30.8	61.5	7.7	23.1	15.4	80.8	3.8	11.5
	資金繰り	7.7	92.3	0.0	7.7	3.8	96.2	0.0	3.8	7.7	92.3	0.0	7.7
	採算	7.7	88.5	3.8	3.8					7.7	88.5	3.8	3.8
	売上単価	7.7	84.6	7.7	0.0					7.7	88.5	3.8	3.8
	仕入単価	19.2	76.9	3.8	15.4					15.4	84.6	0.0	15.4
	在庫数量	11.5	80.8	7.7	3.8					7.7	84.6	7.7	0.0
	従業員増減	0.0	88.5	11.5	△ 11.5					3.8	96.2	0.0	3.8
	借入難易度									4.8	85.7	9.5	△ 4.8
	小売業	業況	4.5	69.7	25.8	△ 21.3	6.7	78.7	14.6	△ 7.9	3.4	75.3	21.3
売上		7.9	59.6	32.6	△ 24.7	11.2	69.7	19.1	△ 7.9	3.4	70.8	25.8	△ 22.5
資金繰り		2.2	78.7	19.1	△ 16.9	5.6	78.7	15.7	△ 10.1	2.2	80.9	16.9	△ 14.6
採算		3.4	73.0	23.6	△ 20.2					3.4	73.0	23.6	△ 20.2
売上単価		5.6	79.8	14.6	△ 9.0					7.9	73.0	19.1	△ 11.2
仕入単価		28.1	69.7	2.2	25.8					24.7	73.0	2.2	22.5
在庫数量		7.9	84.3	7.9	0.0					7.9	87.6	4.5	3.4
従業員増減		3.4	90.8	5.7	△ 2.3					1.1	94.3	4.6	△ 3.4
借入難易度										9.0	80.8	10.3	△ 1.3
建設業	業況	17.5	75.4	7.0	10.5	22.8	75.4	1.8	21.1	15.8	78.9	5.3	10.5
	売上	21.1	61.4	17.5	3.5	24.6	66.7	8.8	15.8	15.8	77.2	7.0	8.8
	資金繰り	12.3	84.2	3.5	8.8	10.5	87.7	1.8	8.8	7.0	89.5	3.5	3.5
	採算	14.0	71.9	14.0	0.0					7.0	82.5	10.5	△ 3.5
	受注額	21.1	70.2	8.8	12.3					19.3	77.2	3.5	15.8
	材料単価	28.1	71.9	0.0	28.1					29.8	70.2	0.0	29.8
	従業員増減	3.5	89.5	7.0	△ 3.5					8.8	87.7	3.5	5.3
	借入難易度					15.1	81.1	3.8	11.3				
サービス業	業況	13.8	70.0	16.3	△ 2.5	11.3	73.8	15.0	△ 3.8	6.3	75.0	18.8	△ 12.5
	売上	13.8	63.8	22.5	△ 8.8	16.3	63.8	20.0	△ 3.8	7.5	70.0	22.5	△ 15.0
	資金繰り	7.5	81.3	11.3	△ 3.8	7.5	82.5	10.0	△ 2.5	3.8	86.3	10.0	△ 6.3
	採算	6.3	78.8	15.0	△ 8.8					7.5	80.0	12.5	△ 5.0
	客単価	2.5	82.5	15.0	△ 12.5					2.5	85.0	12.5	△ 10.0
	仕入単価	24.1	72.2	3.8	20.3					15.2	77.2	7.6	7.6
	従業員増減	3.8	89.7	6.4	△ 2.6					2.6	93.6	3.8	△ 1.3
	借入難易度					3.1	90.6	6.3	△ 3.1				

## 伊勢崎佐波地区 景気動向調査 No.63

---

発行 伊勢崎商工会議所 経営支援課

群馬県伊勢崎市昭和町3919

TEL0270-24-2211

<http://www.isesaki-ccior.jp>

アイオー信用金庫 経営企画部

群馬県伊勢崎市中央町20番17号

TEL0270-30-5001

<http://www.io-web.jp>

---

このレポートは、調査時点における当金庫及び当商工会議所の見解をまとめたもので、情報提供を目的としております。また、当金庫及び当商工会議所が信頼できると判断した情報やデータに基づいてこの資料は作成しておりますが、この情報の正確性・安全性等について当金庫及び当商工会議所が保証するものではありません。

このレポートの活用に関しては何の制限もございませんが、施策の決定や実行などの最終決定は、ご自身の判断でなされますようお願いいたします。